



# 学校だより

令和4年4月27日 NO.4

尼崎市立金楽寺小学校

校長 中根 孝介



## 一日の始まりは「元気な挨拶から」 — 金楽寺小学校 —

金楽寺小学校の一日は、毎朝、校門での元気な挨拶から始まります。地域の方やPTAの方々に見守られて集団登校で登校してきた子どもたちから、「おはようございます。」という元気な声が聞こえてきます。校門では、教員が見守り、子どもたちとあいさつを交わします。「今日は、欠席者はいません。みんな元気です。」「OK!」子どもたちと先生のにこやかなやり取りが進みます。

リニューアルした真新しい靴箱に迎え入れられて、子どもたちは気持ちよく、校舎に入り、手の消毒をします。靴箱の大半は、地域の企業から寄贈していただいたものです。おかげで、下足ホールがすっきりと広々とした感じになりました。教室に入る前には、健康チェックです。「けんこうカード」でチェックし、一日の学校生活がスタートします。

学校では、子どもたちと気持ちよく一日のスタートが切れるよう、学校環境の整備にも努めています。校務員を中心に樹木や草花の管理、校内清掃等を日々欠かさず進めています。新緑も徐々に芽生え、緑が鮮やかになってきています。校舎内にも、少しずつ草花や観葉植物を増やすようにし、少しでも子どもたちの心が安らぐ場づくりを工夫しています。

5・6年生の子どもたちが中心となる委員会活動も本格的に始まります。栽培委員会は校門付近のフラワーポットでの栽培、美化委員会は朝の清掃活動に励みます。

おはよう  
ございます。



靴をそろえてなおす  
と気持ちがよいです。



手洗いの草花たち



【正門で子どもたち  
を迎える教員】



【広く明るくなった  
下足ホールと校舎  
内の草花】

